時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金六十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五號活字ニテ一行廿四字詰	一行二付一日限	一行二付六日以上	一行二付十五日以上	一行二付十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢	六錢
自十一行至廿行	九錢	七錢	六錢	五錢
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢

一行二付	二厘	六錢	八厘	
一行二付	三厘	五錢九厘五毛		
一行二付	五厘			

時事新報

歐洲の不景氣は文明の利器の反働なりと云ふ文明の利器の作用は無用の人力を省くと與る省かれたる人力は用途なきに苦んで勞力者一般の不幸の地位に陷るの其次第は前日來屢々時事新報の紙上にも記載しなる通りなるが其後も最近の便にて到來しなる倫敦タイムスにタイオン プレーフェール氏れよの事實を論議したる演說を載せたり即ち曰ふ氏は本年一月十八日セシー リベラル 倶樂部の集會に於て英國を始め歐洲近來不景氣の原因を論じ去る千八百七十三年より引續き今日に至るまで製造事業の次第に衰退して恢復の色なきは全く器械力の作用に依る者ならんと爲し曰ふ既往十數年間の歲月は短かからざるに千八百八十年及び八十一年の兩年度に少し許り不景氣恢復の色合顯はれたる其外は唯打續き製造業の沈滯を見る許りにして絕て活氣を呈せざる者の如し抑も一盛一衰は百事の免れざる所なして商賣の事も雖も時に沈滯憂鬱の時限あるは數に於て爭ふ可らず今十九世紀の始めよりして今日に至るまで商業不景氣の期凡そ十二段落を以て算ふるを得べく十年目に一度の沈滯は兎角に免れざりし先例なれども一期限を經由する度に景氣恢復の沙汰を聞くと必然なりしに去る千八百七十三年以來は此景狀一變し諸般の商業ノベラル衰退の一方にして絕て生氣と顯はさざるは不可思議なりと云はざる可らず例へば英國に就て之を言ふに近時海陸運輸の便著しく開けたるより國内に必要なる穀物の供給も之を全世界に仰ふぐと容易となりたれば英國農產上の商賣は新舊相對して根底より其趣を殊にするに至りたるは勿論なれども利害得失の峽に於ては英國全體の製造事業が差引して損なりしに如何なる影響を蒙むりしや未だ就れも斷定す可らざるなり然れども去る七十三年來引續ての不景氣の原因は主として英國農業の變動に基きたるに非ざるは予輩の信ずる所にして器械力の作用寧ろ之れが主因ならん其證據を如何にと云ふに去る八十三年以後は不景氣の波も手工國即ち器械力を使用せずして專ら手細工を事とする國々に及びたれども其以前七十三年より八十三年まで滿十箇年間の不景氣は器械國即ち製造事業に新發明の利器を應用せる國々に限れるを見ても知る可し試みに世界の人口に就て手工國と器械國との比例を並べるに歐羅巴中にても露國を除き器械國の人口は[illegible]なり殘る十箇の手工國の國民として[illegible]の人は[illegible]有する器械國の運命を如何にと[illegible]なく[illegible]に起らざるなく[illegible]も累年引續き[illegible]の次第と[illegible]事に非ず[illegible]且つ[illegible]の政略には保護貿易自由貿易の相違もあれども保護國なりとて不景氣の影響を免れたる譯ならず即ち器械國の人民は平等一樣に商業沈滯の不幸を蒙むりたる次第にして其原因の重なる者は去る七十三年以來應用理學の進歩最も著しくして文明れ利器彌よ〳〵其働きを逞うしたるに在ると云はざる可らず事實に據て之を證するに方今世界中の鐵道延長は凡そ三十萬英里以上まれに往來する列車馬力の數を全世界の人口に割付くるに人一人に付一箇年中十二日間餘分に馬一頭づゝの助けを得たる勘定なりと云へり又運賃に就て之を言ふに去る千八百六十五年には若干の貨物と一千英里の遠地に運送するに製造元の元價五割八分を運賃に支拂ひたりしに今日に在りては僅かに二割と以て足るの計算なる由なれば例へば爰に元價一萬圓れ貨物ありとして二十年以前には之を一千英里の地に送るに運賃に五千八百圓を要したるが故に實捌値段は合せて一萬五千八百圓の多きに昇らざる可らず然るに今日の運賃は二千圓にて足るの計算なれば實値一萬二千圓、差引き三千八百圓は全く此二十ケ年間に減ぜたる運賃なり次に汽船航海に至りては石炭を省ぎ且つ馬力を徒費せしめずして專ら節儉經濟を旨とするの發明特に著しければ隨て運賃の減ぜたると鐵道の比に非ざるは論を俟たず或いは靴製造工業に於ても器械を使用するの今日と成りては往昔手工にて之を造りたる時に較べ六分の五の人力と省き得たれば假に爰に三千人の靴製造人ありしとして其中の二千五百人は全く器械力の爲めに職業を奪はるるに相違なからん次に耕作の器械に就て其趣を尋ぬるに去る千八百七十三年にい廣漠なる若干の土地と耕すに二千百四十五人を要したるを今日に在りては器械的の耕作法非常に進歩したるを以て六百人の人夫にて其中の二千五百人は全く器械力の爲めに職業を奪はるれば同一の土地を耕耨すると容易なり又穀物を粉碎するの器械も二十年以前にい百人の人夫を役して運輸したりしに今日の新式器械は二十五人を以て昔日の百人に當ると云へば粉穀器械の一事に於ても人力の七割五分は既に省かれたる者と稱す可きなり　（未完）

雜報

○支那の兵學生　支那帝國は近來海陸軍擴張に銳意なるは世上に隱れなき事實なるが近着の倫敦支那エキスプレス新聞の報道に依れば數年前の事なりとか支那政府は歐洲海軍上の技術と究竟傍ら實地演習に從事せしむるの目的を以て海軍士官を撰拔し一時英國海軍に編入し置きしが此度大に感ずる所ありしと見え更に委員數名を撰び歐米各國を巡廻して各國海陸軍の狀況を視察し之に關する一切の事情を報告せしむるに至れり此等の委員は先日英佛の通辨官に伴いれ倫敦に到着せりされど今回の委員は學生のみにして十分の經驗あるものなく砲術造船術等の研究も行き屆のざる有樣ゆえ政府に向ひ有益なる報告を爲す能はざるべし云々

○弗及びルピーの比較價格　英國大藏省は英國政府及び印度政府間の計算を便にする爲め千八百八十八年より千八百八十九年に跨る會計年度中はルピーの價格を一志五片に定め香港、海峽殖民地及び支那地方に於て同年度の上半期（六箇月）間い弗を三志三片にセイロン、モーリシヤス及び東印度地方に於て同半期間はルピーを一志五片と二分の一に定めたるよし

○東京養鹽場　明治十六年の夏頃より稗田三平氏は府下小石川區久堅町に雞を飼ふて產卵蓄育に從事せしが何分品種の惡しく允上に飼養の法ざに備らざれば雞を以て農產第一となし居る彼の米國に渡りたらんには[illegible]明する所多かる可しとて一昨十九年の秋彼地に赴き上陸の後間もなく購ふる種雞を送り其身は猶ほ逗留の上實地研究なし本年の初に至り又も之と携へて歸朝し前後六七十羽の親鳥を日本產のものに合せ米國の風に倣ふて矢來を結び小屋と殿へ愈々事業を弘むるの目的にて今度更に東京養雞場と稱する者を設けたり主人の話しに我國在來の雞は產卵最も多きものにして尙や一年百二十個に過ぎざれども外國の種い二百より二百五十に至り其の產初先の如きも一は八九箇月乃至十二箇月と要すれども一は四五箇月にして產力を現はし其上都て强壯にして成長速く體量に相違甚しければ食用に供するにも外國の產は優等なるよしにて目今同場に飼養せる雞は八種ありて第一淡色プラマは雞種の最も大なるものにして食用に適し充分成長すれば雄十三ポンド雌十ポンド以上に至る第二レッグホンは產卵に供して最も珍重さるゝものなり第三アリモースロックは肉卵兩用と兼ね體軀大にして羽毛小なるを以て短柵の中に放つの利益もあり第四ドーキングは專ら肉用に供し其味の佳美なること群中第一とす第五スパニッシは專ら產卵に用ひられ卵と產み初むるの期限最も早し第六ミノカルは第五と粗ぼ同質なり第七ボーリッシは能く冬季に卵を產し卵雞と唱へ我國にも往々散見する所なれども概ね雜種なり其第八は即ち本邦在來の雞種にして七種何れも滋息生育し風土に適したるさまは恰も第八に異ならざるが如く彌々見込みも立ちし由にて稗田氏には來る四月中旬再び米國に赴き雞種をも購ひ一入飼養の法を儲かむる精神なりと云ふ

○獨逸の大學生　本年冬期の調に據るに獨逸國内大學學生の數は總計二萬六千九百四十五名にて内五千七百九十一名は神學五千七百六十九名は法律六千六百五十名は醫學八千七百卅五名は科學又は文學を修め又其内千六百四十四名は外國人にして第一に英人第二に米人其多きに居るよしなり

○大坂商船會社の往復切符　大坂商船會社にては此度乘客便利の爲め往復切符を發するに決し不日實行するよし右い大坂、神戸、多度津の三港と他の各港と往復する乘客に限ることにて其の切符は上中下の三等とも之を發し價格は普通切符の一割引とし通例三十日間通用せる筈なれども特別の理由あるものは場合よ依り尙ほ三十日間延期するよしなり右期限内に止むと得ざる事情ありて復航運賃の返戻を請ふものへは手數料として全額の三割と引去り殘りを返附する定なりとまた大坂神戸より各港へ至る乘客中金刀比羅參詣の爲め途中多度津へ上陸を欲するもの少なからざるに付き此人々の便利を計り下り船に限りて復往切符携帶のものい同港へ勝手に寄港上陸し次の便船に乘組むことを得せしむる都合なるよし

○美術品試賣　今度農商務省にて我國の美術品と清國漢口地方へ輸出して試賣せんが爲め此程起立工商會社より蒔繪類各種を買上ゲ近日同地へ廻送するといふ

○秋田通信　三月十三日發

東北鐵道　日本鐵道會社の東北線路中盛岡以北は據て二戸、三戸、上北の諸郡を經て遂に青森に達するの手筈にて其測量も濟み來る四月より愈々其工事に着手するとのことありしが今度更に其豫定線路を變更して鹿角より秋田を經青森に達せんとの議出で青森出張の鐵道局測量官吏い愚曾鹿角地方に廻り新線路測量中なりと聞けり

聯合會　南秋田、[illegible]十日より秋田倶樂部にて

校舍移轉　縣立秋田[illegible]廢校に付尋常中學校を中學校跡へ移轉尋常師範學校　新校改良を主とし其職に[illegible]と表し居れりと蓋[illegible]のなりと云ふ

高等師範學校生　[illegible]される大坂言信、[illegible]る四月五日迄に上[illegible]

○松山通信　三月[illegible]

織物合資會社　當地[illegible]せんとて創立委員[illegible]資金募集に盡力[illegible]で非常に此事に關[illegible]退社するとなり[illegible]の姿となり居り[illegible]縣會議員撰擧の紛[illegible]去る七日正午より[illegible]の投票と持ち來り[illegible]則に反ければとて之[illegible]方ならず假令正午[illegible]らざるとなれば何[illegible]ども到底採用せざ[illegible]の間に紛議と生じ[illegible]本多技手　農商務[illegible]當地に滯在中なり[illegible]多、宇和諸郡を巡[illegible]郡合なり

好時節　當地は昨[illegible]破り桃花將に綻び[illegible]さへ野外に出掛け[illegible]代言人正副會長[illegible]を去る十日に開き[illegible]るが會長い廣野政[illegible]松山鐵道會社　同[illegible]んと種々手を盡せ[illegible]

○長野通信　三月[illegible]

疏時縣會　本縣臨[illegible]副議長の撰擧を爲[illegible]く嶋津忠貞氏議長[illegible]たり翌日即ち今日[illegible]人名は左の如し佐[illegible]倉嶋彌平、松尾千[illegible]臨時縣會の傍聽者[illegible]縣會議事堂再築の[illegible]第二編路の件等何[illegible]志い續々來聽して[illegible]傾け今十六日の初[illegible]長野瓦斯會社創立[illegible]瓦斯と發生せる所[illegible]年十一月東京より[illegible]に純粹の酸素瓦斯[illegible]

●●位日本英學館　神田區仲猿樂町二番地●●
先般來朝セシ米國ポストン府有名ノ哲學士エ、エム、ナップ氏父子氷ル廿一日ヨリ本館ノ授業ヲ擔任ス

弊商會　來ル二十二日午前十時埋地二百番二百少シク海水ニテ損傷候ニ付競賣仕候也　浦館ニ於テ汽[illegible]

鋼金棒　五百八十七本　三十三枚

●東京夜學校入學試驗●　來ル四月ヨリ授業ヲ請ル者ノ爲メ本月廿八日水曜日午後五時井分ヨリ入校試驗ヲ執行ス委細ハ本校幹事ニ問測量官吏い愚曾鹿角地方に廻り新線路測量中なりと聞

正價五拾[illegible]
トーハン[illegible]ターキ[illegible]